

第2次阿東地区 地域福祉活動計画



徳佐八幡宮参道のしだれ桜



SL 山口号

発行：令和3年3月
編集：阿東地区社会福祉協議会
〒759-1421
山口市阿東地福上1697番地
山口市阿東老人福祉センター内

阿東地区社会福祉協議会

はじめに

阿東地区では、平成27年度を初年度として第1次地域福祉活動計画を策定し、「みんなでともに支え合い、誰もがその人らしく、住み慣れた地域で、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本目標に取り組んできました。

この間、高齢化率の上昇、一人暮らしの高齢者の増加をはじめ、交通、買い物の問題など生活環境はさらに厳しさを増しています。

また、全国各地で相次いで大きな災害が発生しており、より一層地域の人々の繋がりが重要となってきています。

福祉の分野では、ニーズの多様化や複雑化により、既存の福祉サービスへの依存のみでは対応が困難になっており、「山口市地域福祉計画」にも示されている、地域共生社会への挑戦が必要となっています。

このような現状のなか、第1次地域福祉活動計画終了に伴い、令和3年度を初年度とする第2次地域福祉活動計画を策定することになりました。

第1次地域福祉活動計画の高齢者福祉、障がい者、子ども、地域コミュニケーション等、各分野の活動を検証し、継続すべきもの、新たに取り組むべきものを検討し、今後5年間にわたる「第2次地域福祉活動計画」を策定しました。

この計画が着実に実践され、小さいながらも成果を上げていきますよう阿東地区の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

また、本計画の策定にあたり多大なるご尽力をいただきました皆様に心からお礼申し上げます。

令和3年3月吉日

阿東地区地域福祉活動計画策定委員会

委員長 原 田 郁 夫

基本目標

「みんなで共に支え合い、誰もがその人らしく、住み慣れた地域で、安心して暮らせる福祉のまちづくり」

活動目標

- 1 子供や高齢者の見守り活動の推進
- 2 交流による安心・安全運動の実施
- 3 住み慣れた 我が家で暮らせる 環境づくり

目 次

• 地区の概況 1

• 人口等の推移 2

• 全体に共通する課題 3

• 第2次阿東地区福祉活動年次計画 4～7

• 策定委員名簿 8

地区の概況

春は桜、秋は紅葉の錦絵に彩られる我が山口市阿東地区は、山口県の北東部に位置し、東西30キロ、南北23キロ、面積にして293平方キロの広さがあり、南は山口市街、北は島根県津和野町に接した緑豊かな中山間地域です。

交通は、国道9号線とJR山口線が東西に横断し、これに対して国道315号線が南北を縦貫しています。山口市街には車で40分、萩市や周南市にも50分程度の位置にあります。

観光では、春は徳佐八幡宮のしだれ桜、秋は名勝「長門峡」の紅葉、また夏から秋にかけては梨やリンゴの観光シーズンを迎え、冬は長門富士で知られる十種ヶ峰スキー場や西日本の冬の風物詩に数えられるクリスマスナイトフェスティバルが多くのファンを呼び寄せています。

なかでも貴婦人やデゴイチの愛称で親しまれているSL「やまぐち号」が緑豊かな田園風景の中を多くのお客を乗せて汽笛を鳴らして走っています。

このように恵まれた環境の中で農業と観光を基幹産業として発展してきましたが、過疎化や少子・高齢化が進み急激に社会情勢が変化してきました。

平成27年に阿東地区社会福祉協議会を設立し、28年3月に第1次「阿東地区地域福祉活動計画」を策定しました。

第2次計画は、第1次計画をベースに、基本目標の「みんなで共に支え合い、誰もがその人らしく、住み慣れた地域で、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し策定しました。

人口等の推移

令和2年12月31日現在

統計年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口	8,120	7,119	6,204	5,249
世帯数	3,260	3,135	2,967	2,762
年少人口 (0～14歳)	706	511	374	226
生産年齢人口 (15～64歳)	4,157	3,439	2,667	1,999
高齢者人口 (65歳以上)	3,257	3,169	3,163	3,024
高齢化率	40.11%	44.51%	50.98%	57.61%



全体に共通する課題

分野	生活課題
高齢者に関すること	・一人暮らしの方への声掛けが難しい ・サロンへの参加が少ない ・介護のことがわからない（特に男性） ・一人暮らしの方の支援体制が不十分 ・一人暮らしの方とのコミュニケーションが難しい ・車の運転ができないと生活できない ・買い物ができない ・災害時の連絡体制が不十分 ・男性の一人暮らしの方とのかかわり方が難しい
障がい者に関すること	・障がい者の方のトイレがない ・障がい者施設がない ・気軽に集まる場所がない ・相談する場所がない
子どもに関すること	・遊び場（公園）がない ・通学路の安全が確保されていない ・コミュニケーションが少ない
コミュニケーション、安全、交通、社会参加に関すること	・地区での交流が少ない ・交通ルールを守らない ・災害時の対応がわからない（避難方法等） ・世代間交流が少ない ・ボランティア活動への理解が少ない ・防犯灯が少ない ・公共交通が不便である ・高齢者が多くなり自治会の行事ができない
居住環境に関すること	・空き家対策が不十分 ・道路の草刈りが不十分 ・ごみのポイ捨てが多い ・防犯灯が少ない ・ごみステーションまで遠い ・買い物が不便 ・サルやイノシシの被害が多い ・空き家が多くて危険
その他	・地域の担い手がない

阿東地区地域福祉活動 2 次計画
(令和 3 年度～令和 7 年度)

	分野	生活課題	阿東地区全体（団体、施設等の連携・協力）ならでること	活動名（事業名）	具体的な内容	年次計画					主な協力団体
						3	4	5	6	7	
1	高齢者に関すること	サロンの参加が少ない	・サロン間の交流などを企画する ・声を掛け合う	・ふれあい・いきいきサロンの推進	・サロン協力隊の活用を強力に推進する ・サロン関係者の研修会 ・地区社協での事務の肩代わり	○					・各サロン ・民間福祉団体
2		一人暮らしの方への声掛けが難しい	・地区内で支え合い見守りネットを作る ・郵便の配達やふれあい給食の配達時の声をかけてもらう	・見守り訪問活動の推進	・見守り訪問活動研修会の開催 ・ふれあい給食配達時の声掛け ・一人暮らし高齢者の日帰り旅行の実施 ・サロン関係者研修会の開催 ・福祉員研修会	○					・福祉員 ・民生委員児童委員協議会 ・老人クラブ ・ボランティアグループ ・食生活改善推進協議会 ・各サロン
3		介護のことがわからない	・講習会を開催する ・相談窓口パンフレットを作る	・介護講習会の開催	・介護講習会の開催 ・福祉員研修会での介護保険についての研修（研修については山口市の講座を利用予定）	○					・福祉員連絡協議会 ・老人クラブ ・各サロン ・包括支援センター
4	障がい者に関すること	障がい者用トイレが少ない	・地区全体でよく調査し、設置を協議する ・位置がわかるマップを作成し、不便なところがあれば声を上げる	・多目的トイレの表示	・多目的トイレの表示（表示方法については当事者と相談）	内容検討					・当事者団体
5		障がい者施設がない、集まる場所がない	・空き家の活用 ・団体入会のメリットをPRする ・広報誌を作ってPRする	・地区社協だより等での広報	・団体紹介のチラシ作成 ・地域活動支援センター（アカシア工房）の紹介	○					・当事者団体
6		相談する場所がない	・相談先を各関係機関にPRしていく	・地区社協だより等での広報	・地区社協だよりでの広報 ・身体障がい者共助会の活動の紹介	○					・当事者団体
7	子どもに関すること	子どもとのコミュニケーションが少ない	・子どもも参加できる行事を開催 ・地域でのあいさつ運動	・交流事業 ・敬老会への保育園、小中学生の参加依頼	・3世代交流事業の実施助成金 ・あいさつ運動の実施 ・敬老会へ保育園、小中学生参加依頼	○					・自治会 ・子ども会育成連絡協議会 ・青少年健全育成市民会議 ・各学校運営協議会

	分野	生活課題	阿東地区全体（団体、施設等の連携・協力）ならでること	活動名（事業名）	具体的な内容	年次計画					主な協力団体
						3	4	5	6	7	
8	コミュニケーション、安全、交通、社会参加に関すること	地区での交流が少ない	・ 公共施設を有効活用する ・ 交流の機会を企画する	・ 交流の場作り	・ ふれあい・いきいきサロン3世代交流事業助成金 ・ 敬老会の開催（敬老会についてはやり方を含めて要検討）	○					・ 地域づくり協議会 ・ 自治会 ・ 老人クラブ ・ 婦人会 ・ 子ども会育成連絡協議会
9		交通安全について	・ 交通安全教室を開催する	・ 交通安全教室の実施	・ 各種団体での交通安全教室の実施 老人クラブについては各年度1地区で開催する	○					・ 老人クラブ ・ 福祉員 ・ 婦人会
10		災害時の対応がわからない	・ 自主防災組織を作る ・ 自主防災組織の連携、協力 ・ 地域全体で年1回は防災を考える集いを開催する ・ 広報紙による周知	・ 災害時の対応について研修	・ 避難訓練への協力 ・ 災害に関する研修会の開催 ・ 他団体が行う災害研修会への協賛 ・ 微笑み通信での啓発活動	○					・ 地域づくり協議会 ・ 福祉員 ・ 災害ボランティア協力隊 ・ 自治会 ・ 民生委員児童委員協議会 ・ 各小中学校
11		ボランティア活動への理解が少ない	・ 広報で募集する ・ 何度でも呼びかける	・ 地区社協だより等での広報	・ 地区社協の広報誌を通じてボランティア活動の紹介及びグループの紹介	○					・ ボランティアグループ
12	福祉のまちづくりに関すること	新規事業		民間の団体が行う福祉事業	・ 提案された事業の継続	○					・ 民間の団体
13				各地域づくり協議会に依頼する福祉事業	・ 提案された事業の継続	○					・ 各地域づくり協議会（5地区）

阿東地区社会福祉協議会
「阿東地区地域福祉活動計画」策定委員会名簿

(敬称略・順不同)

	役職名	氏 名	選 出 区 分
1	委 員 長	原 田 郁 夫	地域代表（地福地区）
2	副 委 員 長	鶴 岡 茂 幸	地域代表（徳佐地区）
3	委 員	中 原 文 雄	地域代表（篠生地区）
4	委 員	藤 原 祥 治	地域代表（生雲地区）
5	委 員	野 村 和 彦	地域代表（嘉年地区）
6	委 員	西 村 新 二	自治会連合会代表
7	委 員	吉 岡 主 税	地域づくり協議会 代表
8	委 員	高 橋 土 男	民生委員児童委員協議会代表
9	委 員	田 中 勇	福祉員連絡協議会代表
10	委 員	長 岡 正 興	老人クラブ代表
11	委 員	西 坂 章 士	ボランティア連絡会代表
12	委 員	松 浦 富 子	女性団体代表
13	委 員	三 宅 悦 子	女性団体代表
14	委 員	吉 松 博 文	福祉施設代表
15	委 員	守 田 竜 雄	行政機関（阿東総合サービス課長）
16	委 員	山 田 一 夫	行政機関（阿東地域交流センター所長）